

Red Hat ソリューションでクラウド財務管理を最適化する

クラウドの複雑化により、FinOps 最適化への関心が高まっている

クラウド導入があらゆる業界に広がりつつある今、リソース使用率の向上、コスト管理の改善、ソリューション調達効率の向上を目的として、クラウド運用の効率化に取り組む組織が増えています。

多くの企業が正式な財務管理 (FinOps) 手法と専任の FinOps 担当者の採用を始めており、2025 年には 59% の組織が、クラウドコストの最適化を担う FinOps 部門があると報告しています¹。

FinOps 担当者は多くの場合、CEO や CIO の直属として、ハイブリッド/マルチクラウド環境における運用の複雑さを解消し、クラウドコストの可視化と管理を行い、組織の効率を向上させるソリューションを提供する任務を負っています。財務管理にとどまらず、エンジニアリング、財務、調達部門の橋渡し役となり、クラウドガバナンス、ビジネス価値の調整、クラウドソフトウェアの購入に対する影響力において、これまで以上に戦略的な役割を担っています。

FinOps チームは、技術力、財務面での影響力、投資対効果 (ROI)、既存の確約利用料契約との整合性を組み合わせた基準に従ってソフトウェア・ソリューションを評価することで、組織全体の運用効率と財務効率の向上に貢献できます。

この概要では、主要クラウドプロバイダーとの戦略的コラボレーションが財務面と運用面にもたらす幅広いメリットを通じて、FinOps 担当者による主な課題への対応を Red Hat がどのようにサポートできるかについて説明します。併せて、リソースの使用を最適化して調達プロセスを効率化する、実績あるクラウドソリューションをご紹介します。

Red Hat がクラウド運用の効率化を支援

ハイブリッド/マルチクラウド環境で IT 運用の最適化を支援するソリューションを長年提供してきた Red Hat は、10 年以上にわたるクラウドテクノロジーの専門知識を持ち、エンタープライズ規模のクラウドの課題を熟知しています。

Red Hat は、ハイブリッド/マルチクラウド環境での効果的な運用に役立つ主要な機能を備え、組織全体でのメリットが実証された幅広いプラットフォームとソリューションを提供しています。

こうした効率化は、複雑なクラウド環境での運用に必要な柔軟性と、顧客やビジネスのニーズの変化に即座に適応できるアジリティによって実現されます。

- ▶ **クラウドの移植性:** Red Hat のソリューションは完全な移植性を備えており、タイプの異なるインフラストラクチャ間や主要なクラウドプロバイダー間で一貫した信頼性の高いエクスペリエンスを実現します。
- ▶ **ベンダーの柔軟性:** 柔軟な Red Hat のオープンソース・プラットフォームでは、使い慣れたソリューションやツールを引き続き使用したり、運用を中断することなく先進テクノロジーを導入したりできます。

¹ Lawson、Adriann 他共著、「[CNCF Annual Cloud Native Survey](#)」、Cloud Native Computing Foundation、2026 年 1 月。

Red Hat は、クラウドイノベーションの継続的実現という共通の目標をサポートするために、Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure、Google Cloud などの大手クラウドプロバイダーと連携することで、クラウド分野の専門知識を広げてきました。

こうしたコラボレーションにより、ハイパースケーラーのクラウド環境向けに最適化された共同開発ソリューションが数多く生まれています。これらのソリューション（およびその他多数の Red Hat ソリューション）は、クラウドプロバイダーのマーケットプレイスやコンソールから購入してデプロイできます。また多くの場合、既存の確約利用料を使用して購入することも可能です。

Red Hat が提供する幅広い実績あるクラウドソリューションの詳細

Red Hat ソリューションは、組織がハイブリッド/マルチクラウド環境全体で運用効率を最適化できるように設計されています。具体的には、アプリケーション開発を迅速化し、スケーラビリティを向上させ、セキュリティ対策を強化しつつ、コストを削減してリソース管理を最適化できます。

こうした IT プラットフォーム（その多くはクラウドプロバイダーと共同開発されたクラウド最適化バージョンとして提供）には、次のようなものがあります。

- ▶ 世界有数の商用 Linux オペレーティングシステム (OS)² である **Red Hat® Enterprise Linux®** は、ハイブリッド/マルチクラウド環境内のあらゆる場所で一貫したアプリケーションのデプロイと運用を可能にする柔軟性と安定性を備えています。エンタープライズでのユースケースを想定してセキュリティ機能と管理機能が組み込まれているため、安定したプラットフォーム上で重要なワークロードを確実に実行できます。
- ▶ Red Hat Enterprise Linux は、すぐに使用できるパフォーマンス基準に加えて、AWS コマンドライン・インタフェース (CLI) や Red Hat Lightspeed (旧 Red Hat Insights) との統合など、組み込みの管理ツールを提供します。これにより、組織は手動の作業を削減し、管理オーバーヘッドや運用コストを抑えるとともに、損失の大きいダウンタイムにつながるヒューマンエラーのリスクを軽減できます。
- ▶ Red Hat は、AWS、Google Cloud、Microsoft Azure 向けに共同開発された統合型サポート対象イメージとして、[クラウドに最適化された Red Hat Enterprise Linux](#) を提供しています。これらの事前調整済みですぐに実行できるイメージは、各ハイパースケーラーに固有の環境に合わせてカスタマイズされています。これにより、組織は基盤となるテクノロジーを手動で構成することなく安定した基盤を確保し、価値実現までの時間を短縮できます。
- ▶ **Red Hat OpenShift®** はハイブリッド/マルチクラウド・アプリケーション・プラットフォームであり、オンプレミス、複雑なクラウド環境、ネットワークエッジにおいて、セキュリティを重視した一貫したエクスペリエンスを提供します。
- ▶ Red Hat OpenShift は、複雑さを増すことなくコンテナと仮想化ワークロードの両方を管理できる単一の一貫したプラットフォームを提供し、モダナイゼーションを推進する組織のニーズに応えます。これにより、IT チームはインフラストラクチャの分断を排除し、既存のリソースをより有効に利用して無駄を削減し、拡張に伴うコスト効率を向上させることができます。
- ▶ Red Hat OpenShift は、組織がクラウドへの投資の価値を最大化できるように本番環境対応のアプリケーション・プラットフォームとして提供される、[フルマネージド・クラウドサービス](#)としても利用できます。統合された開発者用ツール、自動更新、組み込みのセキュリティ機能に加えて、Red Hat サイト信頼性エンジニア (SRE) がインフラストラクチャのパフォーマンスとスケーラビリティを管理することで、運用が単純化され、パフォーマンスとスケーラビリティを最適化できます。
- ▶ 99.95% のサービスレベル契約 (SLA) に裏打ちされた Red Hat OpenShift を使用することで、管理負荷を軽減し、ワークロードを確実にクラウドに移行できます。運用のオーバーヘッドを削減しつつ、損失の大きいダウンタイムを回避できるため、IT チームはインフラストラクチャの管理ではなくイノベーションに注力できます。

2 IDC Market Share、[「Worldwide Server Operating System Environments Market Shares, 2024:The Market Bounces Back」](#)、Document #US53461725、2025 年 8 月。

- ▶ **Red Hat Ansible® Automation Platform** には、組織がエンドツーエンドの自動化を大規模に構築、デプロイ、管理するために必要なすべてのツールが含まれています。これにより、チームが自動化コンテンツを簡単に共有、検証、管理できるようになるだけでなく、効率的かつエージェントレスな技術実装が実現します。
- ▶ Red Hat の包括的なポートフォリオはもちろん、多くの主要クラウドプロバイダーのクラウド環境に統合された Ansible Automation Platform を使用すれば、ハイブリッド/マルチクラウド環境全体でアップグレード、ライフサイクル、セキュリティプロトコル、統合の管理を自動化することができます。
- ▶ Ansible Automation Platform を使用してクラウド・インフラストラクチャを管理すること (使用されていないリソースの電源を自動でオフにする、リソースのサイズを適正化する、使われなくなったリソースを復旧するなど) により、組織は効率を大幅に向上させ、クラウドのコストとリソースの使用を最適化できます。

Red Hat は、組織が運用をモダン化して効率をさらに最適化するのに役立つ、次のような各種サポートソリューションを提供しています。

- ▶ **Red Hat AI** は、ハイブリッド/マルチクラウド環境における AI ソリューションの開発と提供を効率化します。最適化されたモデルと効率的な推論を提供し、プライベートデータとの統合の複雑さを軽減し、スケーラブルで柔軟なプラットフォームでエージェント型 AI の提供を単純化します。これにより、単一サーバー環境から、スケールアウトされた分散プラットフォームまで、予測 AI および生成 AI モデルのライフサイクル全体を大規模に管理できます。
- ▶ **Red Hat OpenShift Virtualization** は、統合アプリケーション・プラットフォーム上で既存の仮想マシン (VM) を移行および管理するプロセスを効率化する Red Hat OpenShift の機能です。オンプレミス、クラウド、ネットワークエッジにわたって一貫したプラットフォームを実現し、単一の管理インターフェースと、コンテナ化ワークロードと仮想化ワークロードの両方に対応する開発および運用ツールセットを提供します。クラウド環境では、OpenShift Virtualization がハードウェアのオーバーコミットに対処できるため、より少ないインスタンスでより多くの VM を実行できるようになり、リソースの使用を最適化できます。
- ▶ **Red Hat Lightspeed** は、プラットフォームとアプリケーションを継続的かつプロアクティブに分析し、ハイブリッド/マルチクラウド環境の管理を支援します。予測分析と詳細なドメイン知識を活用して、セキュリティリスクとパフォーマンスリスクの特定、サブスクリプションに関するレポート作成、コスト管理など、複雑な手動による分析やトラブルシューティングにかかる時間を短縮します。

Red Hat Enterprise Linux、Red Hat OpenShift、Ansible Automation Platform などの Red Hat ソリューションにより、主要な運用効率が次のように向上します³。

- ▶ 新しい VM のデプロイが 70% 迅速化
- ▶ 新しいコンテナのデプロイが 64% 迅速化
- ▶ 新しいアプリケーションの開発サイクルが 60% 迅速化
- ▶ インフラストラクチャ管理の効率が 40% 向上
- ▶ 開発チームの効率が 38% 向上
- ▶ セキュリティ運用の効率が 34% 向上
- ▶ アプリケーション管理の効率が 24% 向上

3 IDC Business Value Snapshot (Red Hat 後援)、[「Red Hat ハイブリッドクラウド・ソリューションのビジネス価値」](#)、Document #US53767425、2025 年 9 月。

利用方法やデプロイ方法の柔軟な選択で調達を最適化

FinOps 担当者は通常、エンジニアリングなどの技術に重点を置くチームによって特定されたニーズに対処します。運用効率の向上に必要なソリューションとインフラストラクチャの選定を任せられる一方で、財務面での懸念と、効率的かつ柔軟な調達方法の必要性を天秤にかけする必要があります。

そのために、FinOps チームでは、クラウドプロバイダーのマーケットプレイス（組織が必要とするクラウドソリューションを効率的に調達するための重要なチャネルであり、戦略的手段）を通じて直接ソリューションを提供するプロバイダーを探しています。

Red Hat は、ハイブリッド/マルチクラウド・プラットフォームの多くをこうしたマーケットプレイスを通じて提供しており、これにより、調達の単純化、一括請求、既存の確約利用料を使用した実績あるソリューションの購入が可能です。組織にとっては、次のようなメリットがあります。

- ▶ **調達の単純化**：さまざまな購入方法やデプロイ方法から柔軟に選択でき、既存の調達プロセスや購買契約を活用できます。
- ▶ **調達の迅速化**：組織全体のニーズを満たす幅広いソリューションとサービスを利用できるため、必要ときに新しいソリューションやサービスプロバイダーの選定と承認に時間をかける必要がなくなります。
- ▶ **請求の単純化**：ソフトウェアおよびサービスの購入費とクラウドの利用料がまとめて請求されるため、既存の確約利用料をさらに有効活用できます。

Red Hat では、お客様の財務上のニーズに柔軟に対応するため、幅広い利用モデル（および確約利用プログラム）をご用意しています。これらの利用モデルには以下のものが含まれます。

- ▶ **従量課金制**：Red Hat ソリューションは、クラウドプロバイダーのマーケットプレイス、コンソール、またはポータルを通じて、従量課金制で購入できます。また、調達の単純化、一括請求、確約利用料の利用も可能です。
- ▶ **確約料金に基づくパブリックオファー**：特定の製品またはサービスを一定期間継続的に使用することが決まっている場合、確約料金（月単位または年単位）を前払いすることで割引を受けることができます。
- ▶ **プライベートオファー**：Red Hat の担当者と直接連携しながら、価格設定方法を柔軟に選択し、予算を予測し、Red Hat Hybrid Committed Spend プログラム（詳細は後述）を利用することができます。このモデルでは、従量課金制または年間サブスクリプションモデルの両方が提供され、Red Hat からの直接サポート、割引価格、既存の確約利用料を利用できます。
- ▶ **Red Hat Cloud Access**：持ち込みサブスクリプションとも呼ばれるこのプログラムでは、Red Hat のお客様が、認定パブリッククラウドプロバイダーで対象となる Red Hat 製品のサブスクリプションを実行できます。Red Hat とのサブスクリプション契約の条件（価格、サポート、特典など）がそのまま適用されますが、クラウド利用料はお客様からクラウドプロバイダーに直接支払います。

こうした柔軟な利用方法は、2つの主要な確約利用料プログラムと連携して提供されます。

- ▶ **クラウドプロバイダーとの確約利用料契約**：AWS、Microsoft Azure、Google Cloud などの主要なクラウドプロバイダーは、各社のマーケットプレースを通じて購入されたソリューションを対象に、確約利用料割引を提供しています。これらの契約には、確約利用料を利用して Red Hat ソリューションを購入するオプションが含まれていることが多く、サードパーティのソリューションとクラウドの利用コストを最適化するのに役立ちます。
- ▶ **Red Hat Hybrid Committed Spend プログラム**：クラウドプロバイダーとの確約利用料契約によって利用できる割引のほかに、Red Hat Hybrid Committed Spend プログラムを通じて Red Hat 製品の割引も受けられます。このプログラムでは、Red Hat 製品をクラウドプロバイダーのマーケットプレース、または Red Hat から直接購入でき、Red Hat への合計支出額に対する数量割引を利用しながら、その購入分を両方の確約利用料契約に加算できます。

Red Hat Hybrid Committed Spend プログラムの次の機能を活用することで、FinOps をさらに最適化できます。

- ▶ ハイブリッド/マルチクラウド環境全体で最も合理的な場所に Red Hat ソリューションをデプロイできる柔軟性
- ▶ すべてのチャネルおよび環境での総利用料に対して数量割引を受けることが可能
- ▶ Red Hat ポートフォリオは製品を柔軟にデプロイできるため、月単位、週単位、時間単位で製品の切り替えが可能
- ▶ 従来のサブスクリプション料金モデルとオンデマンド・サブスクリプションを統合して、調達と価格設定の柔軟性を最大限に高めることが可能

クラウドで実証済みの Red Hat ソリューションの詳細

[AWS Marketplace](#)、[Microsoft Marketplace](#)、[Google Cloud Marketplace](#) で利用できる、各種 Red Hat ソリューションの詳細をご覧ください。

また、大幅な運用改善、調達と請求の単純化、既存の確約利用料を使用して実績あるクラウドソリューションを購入できるという財務面でのメリットにより、Red Hat が FinOps の最適化を支援するソリューションの詳細については、[Red Hat にお問い合わせ](#)ください。



Red Hat について

エンタープライズ・オープンソースソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、[フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザー](#)であり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

アジア太平洋 +65 6490 4200 apac@redhat.com	インドネシア 001 803 440 224	マレーシア 1800 812 678	中国 800 810 2100
オーストラリア 1800 733 428	日本 03 4590 7472	ニュージーランド 0800 450 503	香港 800 901 222
インド +91 22 3987 8888	韓国 080 708 0880	シンガポール 800 448 1430	台湾 0800 666 052